

戸建て賃貸受注伸ばす

地域密着
強・化

神奈川支店を開設

松家ランデックス

戸建て賃貸住宅の松家ランデックス（東京・西新宿、日置文彦社長）は1月8日、J R横浜駅近くに神奈川支店を開設した。今後地域密着の営業展開を強化していく方針で、支店開設の第1弾となる。同社の戸建て賃貸販売棟数は11年に112棟と念願の100棟態勢に乗せ、13年12月



日置文彦社長

期は120棟となる予定（松家ホールディングスのホームページより）。今後相続税が強化されることや、積極賃貸派層の拡大で、戸建て賃貸住宅に対する需要は土地所有者、入居者双方から増大すると判断、支店投資を積極化していく。

完成現場見学会も今年は毎月1回実施するペースで、1月は10日、13日まで、東京・西東京市（6棟現場）で実施。2月は同・町田市、3月は横浜市栄区桂台で実施する。地



相続税対策などで需要が増加している戸建て賃貸住宅の施工例

主向けの土地活用相談会も同時開催している。

1棟当たりの本体価格は延べ床面積約20坪で773万円

（税抜き）。受注は最低2棟単位となる。家賃は通常のアパートよりも高めに設定できるうえ、子育て世帯には絶対的人気がある。仮に家賃を12万円とすれば10年で1440万円となる。

建設費用は外構などの付帯工事を入れても1棟1000万円前後だから、投資費用は10年もあれば回収できる計算だ。松家グループとしての強みもあり、今後一層の収益拡大が期待されている。